



## 第107号 2012年9月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

### 主 な 内 容

聞きかじり歴史散歩⑦「萩の乱～前原一誠と玉木文之進」	…… P4
ズームアップ 松井武久(東京都)	…… P6
山口あぶトマト 吉岡八州彦(萩市)	…… P8
話題のお店 にこらしか市(東京都)	…… P9
ゆかりの人 米谷朋子(東京都)	…… P13

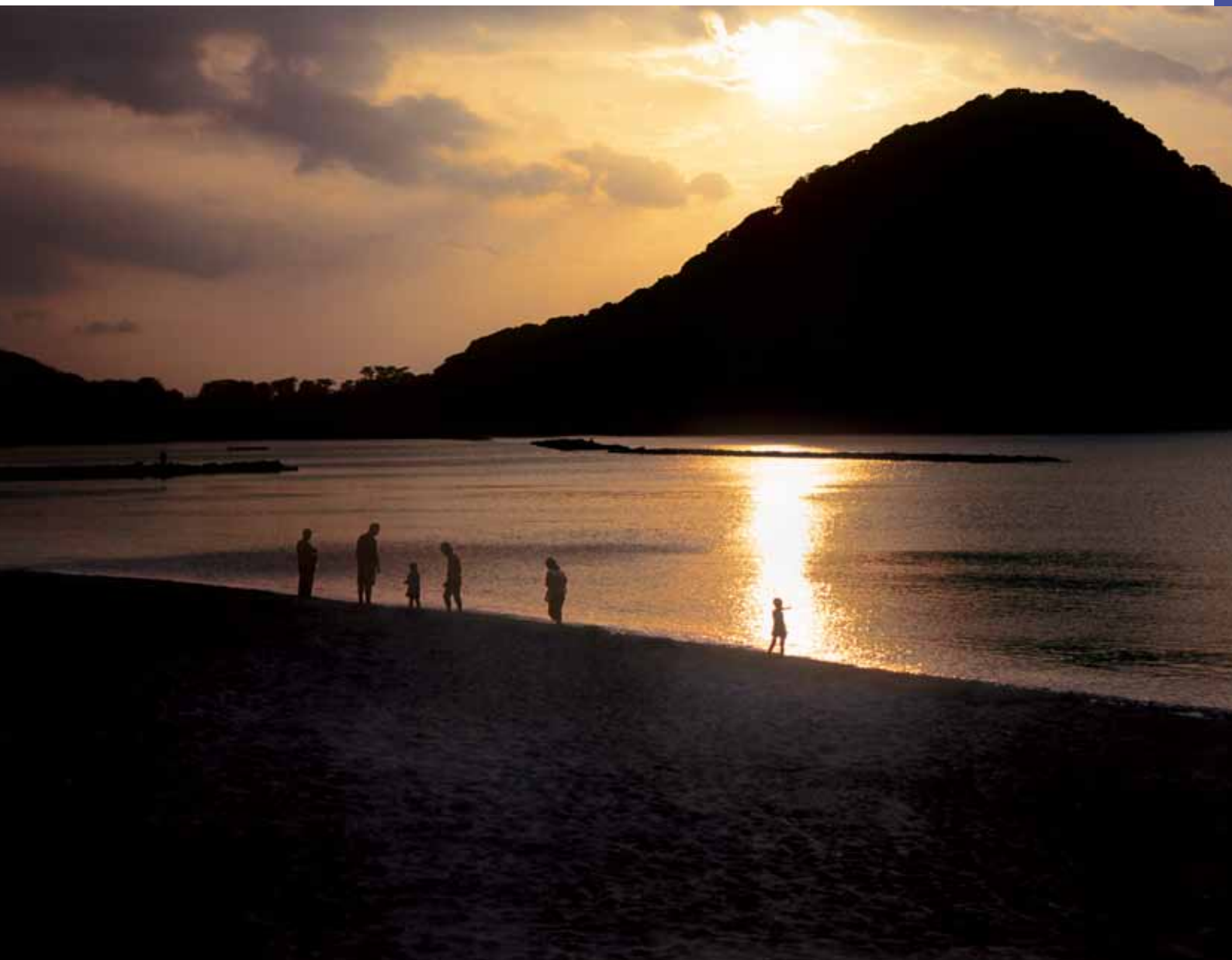
幕末期、1863(文久3)年の長州ファイブ英国密航留学、奇兵隊結成から来年2013年は150年の節目の年を迎えます。明治維新1868年までの5年間、禁門の変、長州征伐、下関戦争、薩長同盟など萩藩は激動の時を迎えます。

萩市と萩市観光協会では記念のロゴマークを作成し、2018年の明治維新150年の記念の年まで、さまざまな記念事業を統一的・効果的にPRしていきます。「歴史をひも解き、過去から学ぶことで、未来(明日)への展望が開けてきます」。

# 明日へ!



**150<sup>th</sup>**  
**ANNIVERSARY**



◀新型自動いか釣り機やLED集魚灯を装備した漁船



イカXO醤▶  
① 980円、② 630円

**山口県内初**

**共同経営体として共同操業・販売**

**玉江浦いかつり船団  
もうかる漁業を目指し  
競争から協業へ**

萩市玉江浦地区は、ケンサキイカやスルメイカを自動いか釣り機で漁獲する「小型いかつり漁業」が盛んですが、近年、原油価格の高騰や漁獲量の減少等により経営は厳しい状況です。

このような中、小型いかつり船団は、6月に国の「もうかる漁業創設支援事業」を導入。経営基盤強化のため共同経営体を組織し、コスト削減と生産効率化、漁獲物

の高品質化や低利用の漁獲物の有効活用を目指し、新型自動いか釣り機やLED集魚灯を装備した漁船による省エネ操業や、漁獲物の共同運搬など、新たな操業方法に取り組んでいます。共同経営・販売の取り組みは山口県内初で、将来の漁業経営モデルとして全国から注目を集めています。

船団長の明賀由治さんは「良いものを少しでも皆さんに知ってもらい、提供していきたい。玉江浦は老若男女が協力して一つのものをつくり上げることには自信がある」と話しました。

また、8月から移動販売車によるイカの一晩干しや沖漬け、イカXO醤などの販売を開始。萩八景遊覧船乗降場所前で、11月末までの毎週金・土・日曜日に実施されます。イカXO醤は、道の駅「萩しーまーと」(0838・24・4937)でもお買い求めいただけます。

■問い合わせ 萩市水産課  
(0838・25・4195)

**全 国 第1号 キャンピングカー専用の  
駐車スペース!**

**RVパークたまがわ  
がオープン!**



萩市田万川温泉に隣接する田万川野営駐車場の一部がキャンピングカー専用の駐車スペースとして、全国初の認定を受け、7月28日「RVパークたまがわ」としてオープンしました。

「RVパーク」とは、キャンピングカー愛好者が安心・快適なキャンピングカー泊のために必要な施設やサービスが整備された専用エリアです。田万川地域には、温泉施設やキャンプ場道の駅「たまがわ」のほかコンビニエンスストア、ゴルフ場海水浴場など抜群の環境を有し、日本RV協会から第1号として認定されました。

野村萩市長は「キャンピングカー愛好者のスローライフ嗜好による観光スタイルが広がっていくと、日本でもそれが根付くきっかけとなる」と話しました。専用駐車場には、電気スタンドが設置された駐車スペース4区画を整備。宿泊中は温泉施設やキャンプ場施設内のトイレ、炊事施設等を自由に利用することができ、料金は、駐車場使用料が1泊2日で1000円(24時間以内)。電気使用料金は、1時間につき100円で、有料でゴミ処理引き受けサービス等も利用できます。

周辺の観光客の集客数増加や地場産業の活性化にもつながることが期待されています。

■問い合わせ (株)たまがわ  
(083807・2・1150)

**昨年の新規入会者数は  
過去最高!**

**3月末の会員数は1564人**

萩ネットワーク協会は、会員の皆様からの年会費で運営しています。

**会員数は過去最高に**

会員数は年々増加し、昨年の新規入会者は226人、今年3月末時点での会員数は1564人で、いずれも過去最高となりました。

引き続き、同窓生・同級生や、お知り合いの方へのご紹介をお願いします。

**会員の約半数が口座振替を利用**

平成20年11月から「みずほフアクター」への委託により、全国ほとんどの金融機関で口座振替が利用できるようになりました。これまでの4年間で444人が会費の支払いを口座振替に変更、現在では全体の48%(753人)の方が利用し、ほぼ半数に迫っています。

**申込者に萩特産品プレゼント!**  
新たに口座振替にされた方には萩特産品を進呈します。

詳しくは、同封の「年会費の口座振替のご案内」をご参照いただくか、事務局までお問い合わせください。

■問い合わせ  
萩ネットワーク協会事務局  
(0838・25・3178、メール [hagi-network@city.hagi.lg.jp](mailto:hagi-network@city.hagi.lg.jp))

## 萩市と山口県の 観光連携を強化

### 松村孝明さん(萩本陣社長)が 山口県観光連盟会長に就任!



携が期待されます。  
現在、萩市体育協会  
会長などの役職も務め  
られ、多忙な中、県観  
光連盟会長職を引き受  
けたことについて「山  
口県に観光客が来れば、  
萩市にも観光客が来る。  
萩市の観光振興のため、  
これも仕事の一環で  
す」と話しました。

萩本陣社長の松村孝明さん(椿  
東、55歳、萩高51年卒)が、5月  
22日、山口県観光連盟の会長に就  
任しました。

山口県観光連盟では、今年3月  
から8月まで「おいでませ!山  
口イヤー観光交流キャンペーン」  
を実施。昨年のプレキャンペーン  
と合わせて観光客3000万  
人、宿泊客450万人を目指し  
様々な事業に取り組んできました。  
キャンペーン終了後の9月以降も、  
2018年の明治維新150年  
に向けて、魅力的なイベントが企画  
されます。

松村さんは2008年から萩市  
観光協会会長も務めています。今  
回の県観光連盟会長就任により、  
山口県観光と萩市観光の更なる連

#### 柔道界に精通

松村さんは1957年(昭和  
32)生まれの下関市出身。幼少時  
代から柔道を始め、柔道の強豪で  
あった萩高校へ進学。卒業後は明  
治大学へ進学し、全日本新人体重  
別柔道選手権の中量級(71~78kg)  
で優勝するなど活躍。全日本柔道  
競技強化選手に選ばれオリンピック  
クも目指していました。

現在でも柔道界への関わりは深  
く、毎年7月に萩市で開催される  
日隈旗争奪萩近郷柔道大会は今年  
で37回目を迎え、世界レベルの技  
に触れてもらおうと、松村さんの  
人脈を活かして有名選手が特別ゲ  
ストとして招待されます。過去に  
は、山下泰裕さんや谷亮子(旧姓

田村)さん、今年は斉藤仁さんが  
参加しました。

8月に開催されたオリムピック  
柔道競技については「国際化の中  
で、武道からなる柔道は似て非な  
るJUDOというスポーツ種目と  
なり、日本の武道精神そのものも  
危機に立たされている」と感じて  
います。

#### 萩本陣社長として

社長を務める萩本陣は今年で創  
業40周年。30周年のときに社長に  
就任し、これまで温泉と食事を  
テーマに取り組み大浴場「湯の  
丸」、食事処「旬の丸」を整備し  
ました。40周年を迎え、今後は「更  
に料理の質と接客・サービスを向  
上させ、おもてなしを徹底してい  
く」と今後の抱負を語りました。

萩本陣では、中学・高校のクラ  
ス会や同期会等が多く開催されて  
います。  
問い合わせは、萩本陣(083  
8・222・5252) 予約係まで。



萩本陣「湯の丸」

### 萩藩主・毛利氏の菩提寺で 国の重要文化財大照院本堂の 保存修理工事が始まりました

#### 指定寄付のお願い

宗教法人大照院が、国、県  
市の補助金を受けて大照院本堂  
の保存修理工事を7月から開始  
しました。大照院は萩藩主毛利  
氏の菩提寺で、平成14年に国の  
重要文化財に指定された萩を代  
表する観光スポットですが、完  
了予定の平成28年10月まで本堂  
は見る事ができません。

重要文化財大照院保存会(刀  
禰勇会長)では、平成22年から  
開始した大照院経蔵と今回の本  
堂修理工事(総事業費9億70  
00万円)を支援するため、寄  
付金を募っています。

この保存修理工事は、本堂の  
軸部の傾きや雨漏りによる腐朽  
シロアリによる傷みが激しいた  
め、いったん半解体し補修して  
組み直すもので、今年度は屋根  
瓦の一部を解体し、来年度に建  
物を半解体。平成26年度から組  
立工事を開始し、平成28年10月  
完成予定です。

この寄付金が、税制上の優遇  
措置の対象となる「指定寄付金」  
に指定され、指定期間は平成25  
年6月14日まで、募集する金額  
は3100万円です。

法人の場合は、通常の損金算  
入の限度額とは別に寄付金の全  
額を損金に算入できます。個人  
の場合は、寄付金額(当該年度  
の総所得金額の40%を限度)か  
ら2000円を引いた金額を所  
得から控除できます。

萩市の貴重な文化財を、将来  
にわたって守り伝えるため、ご  
協力をお願いします。

寄付金の申し込みは、重要  
文化財大照院保存会事務局  
(0838・222・2124)へ。  
ホームページは「大照院保存会」  
で検索。



大照院本堂

# 萩の乱

## 前原一誠と玉木文之進

萩市の東郊、松陰神社の脇の緩やかな小道を進むと、吉田稔麿や伊藤博文の旧居跡、さらには玉木文之進の旧居、そこから右に坂を上ると吉田松陰とその一族、高杉晋作、玉木文之進らの墓地がある。また、松本川の河口近くの土原には前原一誠や奥平謙輔の旧宅跡が今も往時の風情の中にある。

### 前原一誠

前原一誠と玉木文之進を語る共通項のひとつに明治9年（1876）の萩の乱がある。萩の乱は、維新政府が近代国家を目指して急進的な改革を行い、結果、維新に



1834年(天保5)~1876年(明治9)

尽力した武士階級が没落の憂き目に遭う不条理に端を発したもので、新政府内で参議の重職にあった前原は、急進的な政策に異を唱えて明治3年、下野して帰郷した。前原の心境を知るには、これ以前前の動きを押さえておく必要がある。前原は、四境戦争で九州攻めの参謀心得を務めたあと、小倉藩との止戦交渉に長州藩の代表として臨み、さらに明治元年の戊辰戦争では、北越征討総督府参謀として出征して長岡城攻略戦などで軍功をあげた。終結後新政府の越後府判事となって民政を担当し、旧長岡藩領で年貢半減を要求して農民1万5千人が蜂起した際、前原は現地の事情に理解を示した。前原の仁政といえるこの決断は、中央集権化を急ぐ政府にとつては捨て置けない暴挙と映った。前原の参議への昇任は、地方の民政から手を引かせる」という意味合いもあった。前原がそれらを判らないはずもなく、新参議が周囲から「無言参議」と評されたことも、

前後の事情を勘案すれば想像に難くない。

その後の国情は、明治6年の政変を経て政府側から見ると想定どおりに、前原側から見ると悪化の一途を辿り、明治9年8月には家禄の全面撤廃にと進み、10月熊本で神風連の乱、福岡で秋月の乱が起り、前原一統はついに萩の乱を起こすに至った。前原は、現況は天皇の本意ではなく、奸臣の為せるものだ。その中心木戸孝允、伊藤博文らを排し天皇の本意を全うすべきだ。東上して諫言を奏上し諫死もいとわないと主張した。しかし、乱は失敗し前原一誠らは捕えられ、12月3日、萩で斬首された。43歳。辞世が残されている。「われ今国のために死す 死すとも君恩にそむかず。人事通塞あり 乾坤吾が魂を弔す」前句は尊敬する吉田松陰の辞世から引いている。

前原一誠（旧姓佐世八十郎）は、玉木文之進が創始しの子吉田松陰が主宰した松下村塾の塾生で、松陰を尊敬していた。松陰も前原を「八十、勇あり智あり誠実人に過ぐ。その才は実甫（久坂玄瑞）に及ばず、その誠は暢夫（高杉晋作）に及ばず。而してその人物の完全なるは二子（久坂と高杉）もまた八十に及ばざること遠し」と高く評していた。

### 玉木文之進



1810年(文化7)~1876年(明治9)

玉木文之進は、兵学者で教育者として何よりも武士として生きた人であった。甥でもある吉田松陰をスパルタ教育して、11歳で藩主に御前講義をするほど立派な山鹿流兵学者に育てたほか、安政の大獄に連座した松陰を救うために奔走して獄に繋がるなど、終生松陰を支援した。後年は各地の代官として民政に尽力した。「萩の乱」には玉木文之進の養子の正誼をはじめ多くの門弟が参加した。

玉木は、この事態は自分の不徳の至すところだとして、乱のあと団子岩の墓所で自害した。66歳。しかし、玉木は、身は一地方官であつたが、常に武士としての矜持を保ち、教え子でもある松陰の言動の先に、尊皇の武士精神社会を夢見ていたといえる。前原の決起を支持したのは、前原の中に自分の心に棲む「愚直な松陰」をみたからではあるまいか。

### 張中さんに聞く

平成18年2月、萩市在住の張中さん（大正12年2月生）に玉木文之進について聞き取りをさせていただいた。

張中さんの祖父張梓氏は、当時松本新道に住んでいて玉木文之進と友人として交流があつた。張家は朝鮮半島から移住した医家で毛利藩に重用されたが、ある時期の不始末により隠棲したのだという。張中さんは語る。

「萩の乱のことは、私の最も関心の深い出来事です。それは祖父が玉木文之進をよく見知っており、乱以前の言動にも実際触れていたからです。乱が失敗したため犠牲が大きく地域の人たちは皆、乱のことに口をつぐんでいたという事です。祖父は私の父安三郎に機会あるごとに乱の成り行きと玉木文之進のことを語り、父もまたそれを私によく語ってくれました。」

「自害のことですか。——祖父は事件直後に私の父を連れて現場に行き、つぶさに自害の状況を見たといえます。父は数えの6歳でしたが『あまりの衝撃だったのだから幼いながらもその時の情景はしっかり記憶に留めている。墓を背に城に向つて端座し、腹を切り喉を突いて自刃したのだと聞かされた。」

死骸の白髪がなびき、多量の血が流れて生々しかったので、それが事実であろうと思った」ということとです。

そして「祖父は、武人の最後は自分で始末する。長州武士はかくあるべし」と父が成長してから何度もこの「かくあるべし」ということを聞かされたといえます。日頃玉木の言動に接してただけに、それを実践した玉木文之進に感嘆していたのだと思います。

「玉木と前原は、年の差が二十三もあり立場は違っていましたが、心のどこかで深く結びついていたのではないのでしょうか。乱を起せば失敗の可能性もあり、そのことが分からない一人ではないと思いますから、むしろ、命を懸けて武士としての生き方を貫きたかったのではないかと思うのです。

父から聞くこと、父が祖父から聞いていた「萩の乱」は、私が成長して小説などで読むことと少し違います。玉木文之進は自分の教育が至らなかつたから多くの若い人が死んだ、故に自害したといった論調が多いですね。萩の乱の中心は前原一誠で、玉木文之進は精神的に支援したというのが定説のようですが、これは、乱のあとの処罰の広がりを防ぐための言動で、私はむしろ、玉木文之進が、真の武士の生き様を前原一誠の身を

借りて、一族郎党の総力を挙げて世に問うた出来事、いわば玉木は前原と共に主導者の一人だったと思っています」

張さんは、高齢にもかかわらず熱っぽく語られた。事の真偽はともかく、「萩の乱」は決起もそして鎮圧にも萩人が深く関わっており、萩の人たちの思いが様々込められた事件であった。



玉木文之進旧宅(椿東椎原)

### 前原千勢子さんに聞く



平成22年11月から幾度か前原一誠の孫、千勢子さん(大正12年3

月生まれ)にお話を伺った。「前原の家ですか。——本姓は佐世氏で、尼子一族ですが子孫に近江の米原にいる者がいて地名を家称にしたということです。萩藩には佐世氏が三家あり、寄組の佐世を大佐世、八組の二人の佐世を中佐世、小佐世と呼び前原は小佐世です」。

「祖父前原一誠が騒ぎを起しましたのは明治9年のことですから、私が物心ついた頃は騒ぎから50年ほど経っておりまして。それでも土地には気風というものがありまして、何といえますか私には日々の生活の中でも、世間に対して気がかりな感じが致しております。それは、祖父を慕い行動を共にした若い人たちが処罰を受け、ご家族や親戚も同じ土地に住んでいましたから、なんとなく申し訳ないような複雑な気持ちにさせられたのです。人前で前原の孫だと言われるのはとても嫌で、若い頃は町を歩く時はいつもうつむき加減でございました。いいえ、恥ずかしいという気持ちではありません。前原の孫であることは私の中ではむしろ誇らしい気持ちでしたから」。

「はい。私の知る限り祖父一誠は、やはり傑物だったと思います。天皇様を尊崇しており、昔風に申せば滅私奉公の気持ちが一倍強かったように思います。自分も文

武を鍛錬いたしておりましたから、ご一新(維新)で鍛錬された武士たちがないがしろにされていくのを見るのは、心が痛んだのだと思います。維新の功労者とも言える武人たちを同郷の木戸、伊藤氏らが主導して排除していくのが堪らなかったのでしょうか」。

「武士は高い教養を身につけているから、その人材を今後の国家運営に役立てられるよう道を拓いてやるのが政府の責任だ」と申し述べていたといい、前原本人の言葉としてご本にも残っております。祖父の心情の一端でありましょうが、安藤紀一先生のご本が一番前原の心に沿うように思います。妻木氏のご本は木戸寄りですので嫌ですね」。

「前原の私生活ですか。——親族の話では、頑固で筋を通す、飾りのない人だったようです。お酒も飲み、詩をよくし書画も得意でした。そうそう、のっぺい汁がとても好きだったと料亭高天の先代のお話として聞いております。あの時代ですから、妾を持つのは普通だったようで、前原も京都から女性を連れて帰り妻妾同居しておりました。騒ぎのあと家族が相応の支度をさせて帰したと聞いています。今でも本家の仏壇の敷物は、その女性の残した帯地を使っています」。

千勢子さんは、一族に降りかった歴史的な出来事と祖父一誠について、しっかりと口調で淡々と話された。前原一誠の萩の乱は、維新史の重要事件であるとともに、萩の郷土史としても重く濃い事件だったと思われる。まもなく、「萩の乱」から136年目のその日が訪れる。



前原一誠旧宅(土原)

(高木正照 エッセイスト 日本ペンクラブ会員)

### 【参考】

「萩の乱」松本二郎  
「評伝 前原一誠 ああ東方に途なきや」奈良本辰也

「前原一誠年譜」安藤紀一  
「前原一誠伝」妻木忠太

「不運なる革命命児 前原一誠」米原慶助

「萩の乱と前原一誠」富成 博

「萩の乱と長州士族の維新」諸井 條次

「世に棲む日日」司馬遼太郎

技術経営コンサルタント所長

松井 武久 さん  
たけひさ

(秋市小川出身 東京都在住  
萩高校昭和37年卒、69歳)



東日本大震災復旧支援  
(2011年6月 宮城県石巻市)

ふるさと萩・小川会にて

私の近況

2009年3月に47年間のサラリーマン生活を終えたのを機会に、「生涯現役」と「コンサルタントとボランティアの両立」をモットーに技術経営研究センターを設立し、コンサルタント事業を営む傍ら、幾つかの団体に加入しボランティア活動を行っている。

コンサルタントとしては、桐蔭横浜大学(技術経営特論)、職業能力開発総合大学校(機械保全)、企業の人材育成(リスクマネジメント、生産技術等)の講師をはじめ、企業支援(新規事業立ち上げおよび既存事業の改善)である。

一方、ボランティア活動の主な内容は、「(社)日本工業技術振興協会」や「夢追いサロンつくば」に所属し、①各種研究会活動、②各種講演会、③新技術開発および事業化支援である。

夢は人生を豊かにする

大学の受講生に「あなたの夢は何ですか」と質問し、多くの学生が夢を持っていないことに気付く。バブル崩壊後20年間、日本経済は低迷を続ける中、財政悪化、過疎化、失業率増加、年金・医療制度の破たん懸念等、現在と将来に不安要素が存在し、国民の多くが夢を失いがちである。明治維新およ

び敗戦後、国民は総力をあげて「新しい国づくり」に努め、一時は国民の多くは「中流階層」を実感していた。

しかし、現在はその当時に比較し物質面では恵まれているが、精神面では不満・不安感を多くの国民が募らせている。

「夢は人生を豊かにする。夢は見るものではなく、叶えるもの」と昔から言われている。多くの研究機関があるつくば市に赴任をした時に「夢追いサロンつくば」を設立し、定期的に講演会を開催し、講師や参加者の夢を語るサロンを継続している。同種のサロンが日本中に設立され、近い内に全国サミットが開催されることを夢見ている。

ふるさと萩と私

戦後中国(青島)から萩に引き上げ、明倫小・指月中・萩高で学び、人格形成はその間に育まれた。兄弟は3人であり、中学の時、父親が癌を患い生活は必ずしも楽ではなかった。幸いにも松陰神社から奨学金をいただき、そのお陰で高校・大学を卒業し、希望の職に就け、幸せな現在があると感謝している。

色々なところで自己紹介をする機会がある。「①萩の出身です。②尊敬する人は吉田松陰です。③

松陰の門下生(奨学生)です」が私の決まり文句である。

先に記述した通り将来に不安要素が増大する中、このままでは日本は沈没する。明治維新で活躍した吉田松陰の門下生の一人としての誇りを持って、その教えを受け継ぎ、日本再生(平成維新)に少しでもお役に立つことが私の最大の夢である。

国土の90%を占める森林・農地を活かした国づくりを目指して、「未来農業事業開発研究会」を発足し、会員と共に日々努めている。関心のある方はHP (<http://www.wjtas.or.jp>)をご覧ください。

プロフィール

- 1943年(昭和18) 中国(青島)生まれ、46年萩市(旧田万川町小川)に引き上げ。
- 1962年 萩高卒業(14期)、66年 山口大学工学部卒業。
- 1966年 三菱化成(現在三菱化学)入社、88年 黒崎工場エンジニアリング部長、98年 三菱樹脂取締役、2000年 三菱化学MKV常勤監査役。
- 2003年(独法) 農業生物資源研究所非常勤監事、05年(独法) 農業環境技術研究所常勤監事。

2009年 技術経営研究センター設立(所長)、現在に至る。

# 世界を舞台に活躍する 若者を育てたい！



## 医師 池本和人さん 外務大臣表彰を受賞！

萩市山田在住の池本整形外科医

受け入れ等にも協力しました。

### 萩市国民外交友の会を設立

34年卒、71歳が、7月19日、国際関係の様々な分野で活躍し、諸外国との友好親善関係の増進に功績のある人に贈られる外務大臣表彰を受賞しました。国内では池本さんを含めて6人のみの受賞です。

### 国際交流を始めるきっかけ

池本さんは、1941年（昭和16）萩市三見出身。59年に萩高校を卒業後、鳥取大学医学部、九州大学医学部、東京医科大学研究所等で医学を学び、82年、23年ぶりに萩に帰り「池本整形外科」を開業しました。同年、知人の誘いで「萩ライオンズクラブ」に入会。これが国際交流に携わるきっかけとなります。若者の国際交流活動に興味が生じ、各国の交換留学生の世話や外国の青年のホームステイの

93年、市内の教育者の仲間を中心として「萩市国民外交友の会」（現日本外交協会萩支部）を設立、会長に就任します。この時、発開式の記念講演をした元外務省事務次官、谷内正太郎氏（現早稲田大学日米研究機構日米研究所教授）との出会いが、その後の国際交流にのめり込むきっかけとなります。谷内氏の「今後の日本の外交を支えるのは、若い人の力。若い人を育てたい」という思いに強く共感。現役の外交関係者の話を聞くことで、若者に夢を与えたいという強い思いから、萩高校出身で外務省の幹部職員、兼原信克さん（現内閣情報調査室次長）など外務省の大使経験者や審議官等を萩に招き、講演会を開催しました。

### 山口日英協会を設立

2002年には、日英同盟締結100周年を記念し、イギリス大使館からイングリッシュオークの木が贈られたことを受けて「山口日英協会」を発足。会長を務め、08年には、幕末にイギリス軍に戦利品として持ち帰られた大砲「長州砲」の萩への里帰り展示の実現に大きく尽力されました。

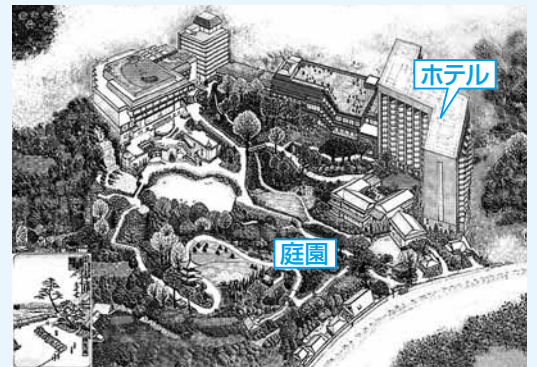
### 日本の外交について 考えること

池本さんは、現在の日本が抱える近隣諸国との領土問題について「歴史を俯瞰し、毅然とした態度で外交を押し進めるべき」と主張。受賞については「かつての長州ファイブのように、いつの日か世界を舞台に活躍する若者を萩から育てたい。これが私の活動の原点、今後も若い人たちの力になっていきたい」と力強く語りました。



笠山の「椿小町」を植樹する野村市長

## 旧山県有朋邸「椿山荘」 萩の椿を植樹！



交通アクセス ☆庭園は無料公開

- ・JR目白駅よりバスで10分
- ・メトロ有楽町線「江戸川橋駅」から徒歩20分
- 住所：東京都文京区関口2-10-8
- 電話：03・3943・2222
- URL：<http://www.fourseasons-tokyo.com/>
- （フォーシーズンズホテル椿山荘）

7月10日、東京都文京区の結婚式・宴会場「椿山荘」庭園で、萩市をはじめ全国の17自治体のツバキ24本が植樹されました。

名づけたと言われています。椿山荘周辺は、南北朝時代から「椿山」と呼ばれ、椿が多く自生する景勝の地として知られています。

今回の植樹は、「椿山荘」が開園60周年の記念事業の一環として、2月に萩市で開催された「全国椿サミット協議会 萩大会」で呼びかけたことにより実現したものです。

「椿山荘」庭園は、2万坪の広さを持ち、現在、約100種、約1000本の椿が植栽されています。また、園内には室町時代の三重塔、樹齢500年の神木、秩父山系の湧き水などが存在する歴史や自然が豊かな庭園で、一般公開（無料）もされています。（午前6時～午後11時）

萩市からは野村興児市長が出席し、笠山の「椿小町」を植え、自治体名や品種が刻まれたプレートを設置しました。また、野村市長は「椿山荘を拠点に、ツバキの縁で自治体の交流を深めたい」とあいさつしました。

山県の庭園には、京都の無鄰菴（むりあん）庭園、小田原の古希庵庭園、そして東京目白の椿山荘庭園があり、山県三名園と呼ばれています。

東京都心部でツバキの名所として知られる「椿山荘」は、萩出身で明治の元勳山県有朋公が130年前に邸宅として築庭し、椿の咲く故郷の萩を偲んで

現在、経営は萩出身の藤田伝三郎翁を創始者とする藤田観光が行っており、萩とは大変ゆかりの深い場所です。

秋ブランド  
野菜を守る

# 吉岡 八州彦さん

（萩市むつみ 32歳）



◀山口あぶトマト



衰退が続く地方農村地域に新しい道を切り開くべく、若く28歳で農事組合法人を立ち上げ、地元むつみ地域だけでなく、日本農家の生き残りをも視野に入れ、既存のシステムにとらわれず、チャレンジし続ける農事組合法人「厳島の恵」代表理事組合長・吉岡八州彦さんにお話を聞きました。

## 大嫌い

旧むつみ村、下領地区・厳島の農家で生まれ育った私は、幼少から農業大学に入るまで、農業は大嫌いで、家業を継ぐことは絶対無いと考えていました。少年時代は「目指せ！甲子園！」の野球少年。将来は、学校の先生になり、野球の指導をしたいと思う時期もありました。

## 仲間との出会い

転機となったのは高校卒業後進学した阪南大学時代で、スポーツでもそうですが、いろいろな意味で鼻を折られ、2年で大学を中退し、半年くらいアルバイト生活を送っていたころ。その期間、自分を見つめ直し、何がしたいのかを模索しているうちに、少年時代夢見ていた「野球の指導をしたい」と同じように、「人に教えることがしたい」と思いはじめ、海外青年協力隊に入り、発展途上国で農業の指導をするために、県立農業大学に進学することを決めます。

県立農業大学では農業を学ぶだけでなく、今歩んでいる人生のきっかけとなる仲間との出会いが待っていました。仲間と学び、農業の現状や地元農地について語り合ううちに、後継者不足により衰退が進む日本農家でも、やり方次第ではビジネスとしてやっていくのではないかと漠然と思うようになりまし。卒業後は海外青年協力隊に入らず、地元で、魅力のあるビジネスとしての農業を確立することにチャレンジしようと思えます。

## 施設野菜

の後、父が代表理事を務める農事組合法人「こぶし」に入社。3年間ほど、米とあぶトマトを作り、今から4年前、28歳の時に農業大学で共に学んだ仲間と暗れて農事組合法人「厳島の恵」を設立します。

厳島の恵を立ち上げてから、先ず確立したかったのは、一年中収益を上げること。

夏場は既にブランディングされているあぶトマトで売上を見込めましたが、最低気温がマイナス8〜10℃となるこのむつみ地域の冬場に何を収穫し収益を上げるかが課題でした。春菊、サニーレタス、スナップエンドウ、ほうれん草などを試し、暖房を焚くとコスト高となるので、ビニールハウスを二重にしたりと試行錯誤を繰り返すうちに、市内飲食店さんからハーブ類を作ってくれないかという話をいただき、ハーブ類の栽培に着手します。

ハーブ類は単価が高いだけでなく、平米あたりの収穫量が多く、更には軽量野菜なので運送コストを抑えることができ、流通過疎であるこのむつみ地域ではうってつけの作物だと気付き、市内飲食店だけでなく、消費地にも販路拡大します。これが功を奏し、現在では1日100〜200パックを東京シティ青果株式会社で卸して

いただけるようになり、厳島の恵の主力商品となっています。

## システム構築

立ち上げて4年。法人として軌道に乗ってきてはいますが、限界過疎地へと向かっている、このむつみ地域の将来への不安はまだ解消できていません。今基盤をつくらなければ、あと5年後、10年後には…と感じています。

トマトや米だけでは生活できません。この土地で農業だけで食べていけるように、当組合が力を入れている施設野菜のノウハウをマニュアル化し、大げさに言えば、素人でも農業ができるようなシステムを構築し、1人あたりの年収が無理なく500万円を超えるような状態を作られたらと考えています。

それをこの土地で確立できれば、住む場所としてではなく、働く場所として、むつみ地域のコミュニティ維持が可能となるのではないかと考えています。そのために、今後とも組合員一同チャレンジを繰り返していこうと思います。

## 農事組合法人 厳島の恵

〒758-0303

萩市大字高佐下1229

☎083888-80010

※Facebookページ「農事組合法人厳島の恵」で事業報告を紹介。



# 銀座で味わう萩の海の幸! 「旨いと楽しいを売る店」

## にこらしか市 (旧 盛本) 中央区銀座

萩魚をふんだんに使った「ええとこ盛り」



バラエティー富んだメニューの数々



森本さん親子 女将の悦子さんと吉英さん

新橋から銀座へ向かうメインストリートの中央通りから一本東の通りを入るとすぐに「にこらしか市」という大きな看板が見える。

先代から数えて創業36年。古くからこの町に店を構えている。老舗といっても過言ではない。サラリーマンの町・新橋にほど近いという場所柄、お客様はサラリーマン世代が中心だ。昔からやっているの、馴染みの客も多い。大将の森本吉英(45歳)さんに話をきく。

### 「にこらしか市」の名前の由来は?

これまでは先代(父親)の店「盛本」という名でお店をやっていた。店名「にこらしか市」は昨年(2011年)の5月に改名しました。先代が亡くなって七回忌になります。以前から父親には、「継ぐときは自分の店(店名)でやれ」というのが遺言でした。

私が以前、世田谷で「市」というお店をやっており、先代の創業当時は「にこらしか」という店名でしたので親子二代の店名を合体させ「にこらしか市」としました。お店のスタイルは先代の頃から変えておらず、リーズナブルなメニューを取りそろえています。

### 魚は萩産を使用

母が萩のおとなり長門市の生まれで、先代がいた萩の魚を気に

入り昔から萩の魚を使っています。最近では空輸で入ってくるので、千葉などの近海の魚よりも鮮度は抜群です。コストはかかってしまいますが、まさに「掛け値なし」で、この店の看板として萩の魚を使っています。瀬つきアジ、タイ、ヒラソ、剣先イカ、アマダイ、ヒラメ、アナゴ、金太郎に平太郎(ヒイラギ)など二年を通じて旬の魚を取りそろえています。

### 萩の魚を使ってみたいの感想は?

一言で言うと「萩はおいしいものがいっぱい落ちています」という感じですね。

萩といえはコレ!という看板魚種は弱いものの、どの魚もブランドになり得る魅力を持っていると思います。とくに私が気に入っているのは「タイ」と「アナゴ」。日本中どこでも獲れるこの2種で

ですが、萩産は全国的にみても飛びぬけています!アナゴは鮮度の良いものが入った時にはお造り(刺身)で出しています。

山口県出身のお客様には懐かしさもあり大変喜ばれています。野村市長にも大蔵省時代から足を運んでもらっていました。先日お見えになられました(笑)。

### どんなお店にしていきたいですか?

ここは銀座の一等地。ご承知のとおり日本の中心的な立地と言えます。毎日多くの人がそれぞれの目的でわいわい集まってくるところです。その中で、このお店で楽しいひとときを過ごしてもらいたいと思います。先代が残した言葉「旨いと楽しいを売る店」というコンセプトはずっと変えずにやっていきたいですね。

(特派員 中村浩二)

### お店情報

■にこらしか市  
住所: 東京都中央区銀座8-10-14  
予算: 3,000円~5,000円  
営業時間: 15:00~ラストオーダーは不定(お客様がいなくなるまでお店はやってます)  
店休日: 土・日曜日・祝日 席数: 72席  
TEL: 03・3574・7924



### 読者サービス

なんと! 萩ネットワークを見たで  
オールドリンク1杯サービス!!

☆5名様にプレゼント



蒸気まんじゅうほか  
詰め合わせ

蒸気まんじゅう 1個90円  
営業時間 午前9時～午後4時30分  
（定休日：毎週火・金曜日）  
お問い合わせ 道の駅阿武町  
（083888・2・0355）

ユニークな形とやさしく素朴な味わいが人気の「蒸気船まんじゅう」。これを遠く離れたご家庭でも楽しめる、お菓子の詰め合わせが道の駅阿武町で発売されました。「お嫁に来てからずっと焼いているから、かれこれ60年くらいかねえ」と話すのは、かわいい笑顔が印象的な八代文子さん（87歳）。文子さんがまんじゅうを焼く店舗は、道の駅阿武町にあります。50年以上使い込んだ鑄型で炭火焼きにこだわり、一つひとつ丁寧に焼き上げます。まんじゅうの生地は薄力粉・膨張粉・砂糖のみで、卵を使っていないので卵アレルギーの人も食べることができます。「この味を、都会に出ている人にも届けたいと思ったんです」と

阿武町  
ふるよとの懐かしい味  
蒸気船まんじゅう  
道の駅阿武町で発売中



八代文子さん

語るのは道の駅阿武町支配人の田中良平さん。その思いを受けて、バック詰めを提案したのが、文子さんの甥にあたる八代峰月堂（ボ・ヤシロ、萩市平安古町）の八代淳一さんです。淳一さんは、「ばあちゃんの焼く蒸気船まんじゅうがほかと違うのは、焼きたての皮のパリパリ感」が抜群なこと。ふるさとを代表する味を、ふるさとを離れ都会で頑張っている人たちにも味わってもらいたいと思ったのがバック詰めを考案したきっかけ」と話す。

むつみの千石台大根を使った「だいこんdeフルーツケーキ」や、むつみ産のトマトを使った「とまとタルト」、みそカステラの「松風」、それに蒸気船まんじゅう（2個がセットになった）をたくなお菓子の詰め合わせ（1050円）は、道の駅阿武町で好評発売中です。

▽八代本店 道の駅

☆6個入りを4名様にプレゼント!



萩産の夏みかんと  
ふぐエキスを  
使用

■価格 12個入り 1980円  
（送料別）、ホームページ（<http://www.haginoue.co.jp/webshop/>）から購入できます。

■お問い合わせ 株式会社 井上商店 0120・22・0812

海産物の老舗井上商店が、独自に開発したあんこと生地の絶妙な旨味を一度ご賞味ください。



夏みかん  
ふぐどり焼き

萩商工つばき会総会

7月14日

萩商工高校体育館（萩市）



今年の引き受け代表は昭和51年卒の中家豊さん。池田誠次会長は「平成26年春に旧萩商業高校跡地に明倫小学校が移転するので、移転前に思い出の残る地を見ておいてはいかがでしょう」とあいさつ。

萩商工高校では、萩商工生として卒業し就職した第1期生の離職調査を今年1月に実施。3年後の離職率は全国平均の37%を大きく下回る12.8%で、卒業後も各地で頑張っています。

総会に合わせて同期会を行っている参加者の姿もあり、約400人が級友とのひとときを楽しんでいました。

萩光塩学院同窓会総会

8月10日

大谷山荘（長門市）



約100人が出席。廣澤洋子会長より、「同窓会は、同窓生がつながっていくという大変意義があるもの。今年には創立61年。歴代の卒業生のお世話があって成り立っている。最近では、書道部のパフォーマンスや、長岡あゆみさんのピアノリサイタル等、若い卒業生たちにも、光塩の心がきちんとつながっている」とあいさつ。

学校紹介のビデオ上映では、在学当時と現在の授業内容の変わりようや、部活動での生徒の活躍に驚きの声があがっていました。

情報  
ください  
!

会員投稿

6月9日

## 第2回 萩っ子 パーティー

アンカフェ(東京青山)



第1回目の開催から5年がたち、満を持して今回第2回目の「萩っ子パーティー」が東京青山の「アンカフェ」で100人以上の参加者を迎えて開催されました。

関東地域で、郷里「萩」を応援する「萩大志館」の主催によるこのパーティーは、萩市出身はもちろん、出身地に関係なく萩に興味のある方・萩を愛する方も「萩っ子」です！皆さんで「世代を超えて楽しみながら、交流を深めよう！」というのがコンセプトのイベントとして案内をした

ところ、たくさんの方々に集っていただく事になりました。会場オーナーの好意により萩からの産品、新鮮な魚に地酒を含め、参加者に満足していただいたパーティーとなりました。誇れる「萩」との「絆」を感じる事ができる様でした。

野村市長の手配により届いた夏みかんを手持ったの記念写真は、参加者の記念に残るものとなりました。

幹事 吉村光治(千葉県在住)

会員投稿

8月8日 萩高校体育館(萩市)

## 萩高指月会総会・八八会



今年の引受期は平成9年卒の49期生。猛暑の中、500人を超える同窓生で会場の萩高体育館はいっぱいになりました。

今回のテーマは「思い出に残る良き同窓会に」という願いと、引受の49期にかけて「良」。引受期会長の飯田英雄(萩酒類販売勤務)を中心に準備を重ね、当日集まる卒業生に改めて萩の良さを再発見してもらい、それを萩の外へも発信して欲しいという思いが込められています。

お祭りや昭和の雰囲気を出した会場には、北九州でイタリア料理店を営む49期の松岡一奈さんがプロデュースした「むつみ豚と萩野菜を使った丼」をはじめ、萩の食料にこだわった料理が並びました。

最近の八八会は子ども連れの参加者も多く、親子で楽しめる同窓会となっています。メインアトラクションでは49期生の声楽家、米谷朋子さん(13ページにインタビュー記事)によるオペラの披露がありました。

寺戸宏宣(萩高49期広告担当 萩市役所勤務)

会員投稿

8月9日

## 萩高4期 60周年記念 同窓会

萩の宿 常茂恵(萩市)



萩高4期卒業生(昭和27年卒)の卒業後60周年全国同期会を開催し、同期生434人のうち約110人の方が鬼籍に入っておられ、当日の参加者は51人でした。萩高4期は、旧制中学校の最後の年で、萩中、萩高どちらも経験しました。また、この年から家庭科のコースもでき女子生

徒が100人近く増えました。

遠くは仙台市から、阿座上竹四さん(東北大学名誉教授)も参加されました。当時の懐かしい話やこれまでの人生模様・体験など話は尽きませんでした。幹事は、林秀宣、山本万喜、松浦芳江さんを中心に11人でお世話しました。

幹事代表 村田昌志(萩市在住)

# 夢 追人

## ソウモウクツキ委員会

### ウェブ動画番組「萩ラヴTV」を制作



田村卓巳さん

萩在住の30代の若者が集まり、地域活性化のため、地域の情報をより広く、より多くの人に発信しようとして活動するソウモウクツキ推進委員会を訪れ、委員の田村卓巳さん（樺東、34歳、株式会社T&Mコーポレーション代表取締役）に発起への経緯、理念、活動内容を聞きました。

#### 街づくりを考える

2007年に始まった、市外の



萩ラヴTV収録風景  
左からMC花田泉さん、ゲスト崔美由紀さん、竹中淳さん

若者が萩を訪れ、維新やその志を学ぶ『萩・維新塾』（萩市主催）が、昨年2011年度から、参加対象を萩市在住の若者に変え、約半年間「街づくり」について考え、模索する活動を行いました。塾生で活動し、ミーティングを繰り返すうちに、街づくりは誰かがやってくれるものではなく、市民の一

人ひとりが意識し取り組まなくてはならないものではないか？私たちが住むこの街を良くしたいなら市民一人ひとりが立ち上がらなくてはならないのではないかと？今こそ草莽崛起が求められているのでは？という考えに至りました。

しかしながら、戦後、自由主義となりさまざまな価値観が認められ、更には科学技術の発展により便利な世の中になった反面、活動量が増え、忙しく生きる私たち現代人の中で街づくりのために時間を費やすことのできる人はとても少なくなっています。かといって街づくりに携わらない人は「悪」ではなく、状況が、環境が、そうさせているのだらうという話にな

りました。しかし、それで諦めていたら何も変わらず、人口減少に比例して街づくりに取り組む人も少なくなり、活性化どころか、地域の維持継続さえも難しくなるのは容易に想像できました。

#### SNS

ツイッターやフェイスブックのようなSNS（ソーシャルネットワーク）を使うことで、忙しい日常の合間に気軽に街づくりに携わることができ、既にSNSを街づくりに取り入れていく国もあるという情報をいただき、この萩でも街づくりにSNSを利用できればと話が浮かんできたのが昨年の12月でした。

それを実現させるためには、SNS利用者を増やすことが必須条件で、年が変わり今年の1月、SNS利用者を増やすために委員会で話し合いが繰り返されました。そこで出たアイデアがウェブ動画番組「萩ラヴTV」の配信でした。YouTubeをはじめとする

【草莽崛起（そうもうくつき）】「志を持った在野の人々こそが日本の変革を担う言動力になる」という、吉田松陰先生が維新への決起を促した言葉。



△萩ラヴTV vol.7 ゲストは写真家マキタオモリツグさん

ウェブ動画はインターネット環境を持つ人であれば誰もが知り、多くのファンがいるコンテンツです。そして、SNS同様、パソコンだけでなく携帯電話でも視聴することができ、

このウェブ動画の人気度と気軽さをSNSを介することで、動画を見るためにSNSを利用する人が現れるのではないかと、また既にSNSを利用されている人にも注目してもらえれば、街づくり活動につながりが生まれるのではないかと考えました。

#### 萩ラヴTV

そのような経緯で動き始めたウェブ動画番組「萩ラヴTV」を制作するにあたって、次のことに注意しています。①毎回萩で活躍

9回目までをSNSを介し配信し、萩で活躍されている方の応援だけでなく萩に興味をもっている方まで、多くの方がSNSを利用し視聴されています。

実際この半年間で、萩ラヴTV効果の有無に関わらず、SNS利用者はこの萩でも爆発的に増えていきます。もしかしたら、既にSNS利用者を増やす目的はクリアしているのかもしれない。とはいえ、視聴者から好評をいただいていますので、SNSを利用した街づくりは次のフェーズ（段階）に進みながらも、萩ラヴTVの配信も継続していこうと思っています。

■ソウモウクツキ推進委員会  
http://www.facebook.com/#/hagiSounoukuki  
hagiSounoukuki  
「ソウモウクツキ推進委員会」で検索。

でいを！  
校し声露  
母美歌披



萩高同窓会で米谷毅彦さんと朋子さん

声楽家

まいや  
米谷朋子さん



起こさせてくれる場所で、今の自分の原点。ここで皆さんに披露できることがうれしい」と話しました。

音楽が大好き

米谷さんは、幼い時から歌うことが好きで、両親にプレゼントされたおもちゃのピアノでよく遊んでいたといいます。指月中学校では、ブラスバンド部に所属。音楽の授業でビゼーの「カルメン」のビデオを鑑賞し、オペラの世界を初めて知りました。「私にもできるかもしれない」と感じたど振り返ります。萩高校では憧れの合唱部に入部。ソプラノのパートリーダーとして部員を引っ張り、3年生の時には「全日本合唱コンクール」の全国大会初出場を果たしました。「高校生活は部活一色。とにかく仲間と音楽を楽しんだ」と当時を振り返ります。合唱部では部員自らが練習メニューや音楽づくりについて意見を出し合い、この時培われた「自主性」は、後の自分の演奏に大きな影響を与えていると言います。

母校への想い

今年、同窓会の引受期にあたり同級生たちが米谷さんにステージを依頼して実現したもので、当日は、夫で同じく声楽家（バリトン）の米谷毅彦さんも共演しました。曲目は、ヴェルディの「乾杯の歌」、ビゼーの「ハバネラ」、「闘牛士の歌」の計3曲で、その美声を披露しました。

以前から「山口や萩でも歌いたい」と語っていた米谷さんは「母校は音楽の楽しさや自分が本当に音楽が好きだという気持ちを思い

学、同大学院で本格的にオペラを専攻します。この時期に声楽家の米谷毅彦さんと出会い、交流を深め、結婚します。

世界オペラ歌唱コンクール  
出場

大学院修了後の2009年には「世界オペラ歌唱コンクール」アジア予選で日本人唯一の代表に選ばれ、ドイツで行われた世界大会に出場しました。これを機に国内外のエージェンツに注目され、仕事を獲得するチャンスが増えたといいます。この年のドイツ本選では、1位から3位まで韓国の声楽家が独占。実はこの時お腹に赤ちゃんがいたという米谷さんに、同じアジアの出場者として彼らが大変気遣ってくれたと言います。「本来であれば競争の激しい世界なのに、彼らの優しさに触れ、精神的なゆとり、おらかさが音楽をする上で欠かせないと気付かされました」

「第九」や宗教曲のソリストとして多数出演。東京荒川少年少女合唱隊等合唱団の指導や発声トレーナーとしても精力的に活動しています。現在、日本声楽アカデミー会員、サントリーホールオペラアカデミーに所属しています。

「声楽の世界は、30歳を過ぎてから」と言われています。まだ子どもが小さいので仕事も調整しながら進めています。子どもがいるからこそ備わっていく音楽的感覚もあります。聖書のマタイ伝にある「求めよさらば与えられん」という言葉を胸に今後も日々励んでいきます」

大学は、音楽教育の充実した島根大学教育学部に入学。受験期間は部活と実技試験・学術試験の両立と、ハードな生活でしたが「好きなことだからできた、音楽のためなので全く苦にならなかった」と言います。卒業後は東京藝術大

その後オペラで活躍のほか、その後もオペラで活躍のほか、

今後の公演予定

サントリーホール オペラアカデミー公演 ヨハン・シュトラウスⅡ オペレッタ「こうもり」

役柄:オルロフスキー公爵

□神奈川公演

とき 11月11日(日) 15時～  
ところ 横須賀芸術劇場  
(神奈川県横須賀市)

□愛知公演

とき 11月18日(日) 15時～  
ところ 岡崎市シビックセンター  
コンサートホール コロネット  
(愛知県岡崎市)

□東京公演

とき 11月23日(金・祝) 15時～  
ところ サントリーホール  
ブルーローズ(東京都港区赤坂)

■チケット問い合わせ

tomokomaiya@live.jp (まいや)

# 情報アラカルト

## 関東地区

■金子信彦「伝統から革新への道」  
 9月5日(水) まで  
 茨城県水戸市泉町1・6・1  
 京成百貨店  
 (029・231・1111)

■渋谷英一「陶モノクロームモノログ」  
 9月6日(木)～10月4日(木)  
 ※休館日 日曜日・祝日  
 東京都中央区京橋3・6・18  
 LIXIL・GINZA2階  
 ギャラリーガレリアセラミカ  
 (03・5250・6530)

■グループ展「重力」  
 濱中史朗の陶芸作品を展示。  
 9月7日(金)～29日(土)  
 東京都日本橋茅場町2・17・13  
 第二井上ビル2階  
 ギャラリー須知  
 (03・6661・6393)

■紀ノ国屋「山口フェア」  
 萩で水揚げされた魚が直送販売されるほか、かまぼこなどの水産加工品などが販売されます。  
 10月3日(水)～9日(火)  
 紀ノ国屋首都圏7店舗 インターナショナル店(青山)、渋谷店、等々力店、吉祥寺店、国立店、鎌倉店、ラスカ平塚店  
 ■やまぐち地酒維新

維新の地「やまぐち」の地酒と料理を堪能できます。

萩の中村酒造、岩崎酒造、岡崎酒造場、八千代酒造、澄川酒造場が参加します。(参加費8000円、先着500人、要予約)  
 10月4日(木) 午後7時～9時  
 東京都文京区関口2・10・8  
 椿山荘5階オリオン  
 (問) 山口県酒造組合  
 (083・973・1710)

■岡田裕・泰親子展  
 10月10日(水)～16日(火)  
 東京都豊島区南池袋1・28・1  
 西武池袋本店  
 (03・3981・0111)

■鎌倉市姉妹都市(萩市、上田市、足利市、鎌倉市)物産展  
 萩市から、かまぼこ、海産物、夏みかん製品等が販売されます。  
 10月12日(金)、13日(土) 午前9時30分～午後4時30分(13日は3時30分まで)  
 鎌倉市小町1・10・5  
 鎌倉生涯学習センター  
 (問) 萩市商工課  
 (0838・25・3108)

■萩・世田谷幕末維新祭り 萩観光物産展  
 萩市から、夏みかん菓子、萩焼地酒、海産物等が販売されます。  
 10月27日(土)、28日(日) 午前10時

午後6時(28日は5時30分まで) 東京都世田谷区 松陰神社入口若林公園前  
 (問) 萩商工会議所  
 (0838・25・3333)

## 東海地区

■三輪和彦「淵淵の白」  
 9月26日(水)～10月5日(金)  
 愛知県名古屋市中区栄3・16・1  
 松坂屋名古屋店南館6階美術画廊  
 (052・251・1111)

## 中国地区

■萩焼俊英作家選抜展  
 兼田佳炎の作品が展示されます。  
 9月25日(火)～10月1日(月)  
 広島市中区基町6・27  
 そごう広島店本館8階美術画廊  
 (082・225・2111)

## 山口県関係

■山口指月会  
 山口地区の萩高同窓会。  
 10月18日(木) 午後6時30分～  
 山口市湯田温泉 翠山荘  
 (083・933・3380) 中原

■藤崎恒頼(洋画)の世界展  
 9月15日(土)～30日(日)  
 宇部市西宇部北7・7・38  
 ギャラリー小川  
 (0836・41・0005)

■下瀬信雄写真展「境界Ⅲ」  
 10月6日(土)～14日(日)  
 午前10時30分～午後6時

## 萩二高合同総会(関東)

4年に1度、萩高、商工高、光塩学院の合同同窓会。  
 10月27日(土) 午後2時30分～  
 日本工業倶楽部(東京駅丸の内北口)  
 萩高(090・7264・6954)  
 三浦、商工(03・3373・4020) 野村

## 萩同郷会(関西)

4年に1度、関西在住の萩出身者の同郷会。  
 11月4日(日) 午後2時～  
 大阪弥生会館(大阪駅北口)  
 (06・6458・6008) 中山



山口市下市町 8-17-1-A101  
 (湯田温泉駅から徒歩2分)  
 アテリア セレーノ  
 (083・923・4141)

■ペアティル・ペアソン作陶展  
 11月8日(木)～13日(火)  
 山口市後河原121  
 Cafe & Gallery ラ・セーヌ  
 (0838・25・2693)

## 九州地区

■つばき会九州支部総会  
 九州地区の萩商工会議所。

## 第59回日本伝統工芸展

陶芸家 岡田裕、岡田泰、兼田佳炎、玉村登陽、野坂和左の作品が入選しました。  
 ◆東京展 9月19日(水)～10月1日(月) 日本橋三越本店  
 ◆名古屋展 10月3日(水)～8日(月) 祝 名古屋栄三越  
 ◆京都展 10月10日(水)～15日(月) 京都高島屋  
 ◆大阪展 10月17日(水)～22日(月) JR大阪三越伊勢丹  
 ◆金沢展 10月26日(金)～11月4日(日) 石川県立美術館

## 萩市関係

■萩高16期(昭和39年卒)同期会  
 9月15日(土) 午後6時～  
 萩市椿東385・8 萩本陣  
 (0838・54・2429) 柴田

■萩発見伝プレイベント記念講演「地域くその先に見据える物」  
 萩市出身の現代音楽作曲家、山本和智さん(1994年萩商業高卒)の講演会。  
 10月5日(金) 午後7時30分～  
 萩市土原526 サンライフ萩  
 (問) 萩商工会議所  
 (0838・25・3333)

10月20日(土) 正午～  
 福岡市博多区博多駅前  
 八仙閣本店  
 (090・5744・0316) 上村

# 東京築地に萩のアンテナショップが 9月27日にオープン(予定)

築地場外市場に、萩市と宇部市の鮮魚や加工品を販売するアンテナショップが9月27日(木)にオープン予定です。27日正午から野村萩市長も出席して、オープニングセレモニーが行われます。

単なる鮮魚・特産品の販売ではなく、萩・宇部両市の鮮魚をイタリアンやフレンチなど洋食向けにアレンジした、魚が食卓に上がるまでのトータル提案を目指したアンテナショップです。

運営は地域づくりコンサルタント「合同会社五穀豊穰」。

名称「Buchine (ブッチーネ)」

※山口弁「ぶちいいね」をイタリア語のように

営業時間 午前6時～午後3時(仮)

定休日 毎週日曜日(月2回水曜日定休の場合あり)

取扱品目 萩・宇部の鮮魚、調味料やかまぼこなどの特産品

東京都中央区築地4・16・2(地下鉄日比谷線築地駅から徒歩5分)

(問) 03・6459・0327

## 新規(再)加入会員

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 守永孝之さん (長門市)    | 山根香奈枝さん (広島県東広島市) |
| 坂元英雄さん (大阪府堺市)  | 伊藤義昭さん (光市)       |
| 工野出さん (兵庫県神戸市)  | 有田博さん (高知県香南市)    |
| 藤井亨子さん (兵庫県伊丹市) | 金馬房雄さん (京都府京都市)   |
| 井上久枝さん (大阪府堺市)  | 矢村平五さん (田布施町)     |
| 堀野克麿さん (大阪府茨木市) | 實廣久美子さん (長門市)     |
| 山田勇さん (兵庫県神戸市)  | 松井玲子さん (福岡県糸島市)   |
| 能美正實さん (兵庫県伊丹市) | 酒巻彰さん (鳥根県津和野町)   |
| 大谷寛治さん (大阪府八尾市) | 町田継道さん (千葉県柏市)    |
| 木村正江さん (大阪府枚方市) | 長岡茂子さん (萩市)       |
| 横山勇さん (大阪府大阪市)  | 来島寛代榎さん (萩市)      |
| 東親徳さん (兵庫県伊丹市)  | 榎屋文夫さん (萩市)       |
| 伊勢本洋子さん (長門市)   | 福永保夫さん (広島県広島市)   |
| 中田勉さん (広島県広島市)  | 澤本剛成さん (神奈川県横浜)   |
|                 | 松崎修子さん (広島県広島市)   |



萩市土原291-1  
ヴィレッジ  
(0838・25・6596)

●先進地である長野県松本市、福岡県太宰府市、愛媛県内子町とのパネルディスカッション  
萩市民館大ホール  
○基調講演「萩まぢじゅう博物館 これからの10年」西山徳明(北海道大学教授)

●「海猿 BRAVE HEARTS」  
萩の郷土史やルーツ探しの相談は萩図書館の専門員コーナーへ

■萩まぢじゅう博物館シンポジウム 2003年の「萩まぢじゅう博物館構想」策定から10年の節目。10月20日(土)午後1時30分～萩市民館大ホール

●「蒸気船まんじゅうほか詰め合わせ」を5名様。  
②「夏みかんぶぐら焼き」6個入りを4名様。  
■応募方法 ハガキに品名、住所氏名、電話番号、近況等を明記のうえ、萩ネットワーク協会プレゼント係まで。9月末日(消印有効)。

■松下村塾開塾170年「記念講演とシンポジウム」  
10月14日(日)午後1時～萩市土原526 サンライフ萩  
○基調講演「暮末期長州藩の教育と松下村塾」海原徹(京都大学名誉教授)  
○シンポジウム 三宅紹宣、小川亜弥子、山田稔、道迫真吾、海原徹(問) 松陰神社至誠館  
(0838・24・1027)

10月28日(日) 午後6時30分～午後8時20分(各60人) 料金 7500円  
阿武町関係

■長岡あゆみピアノ&広島VAN 弦楽四重奏団による阿武町アフタヌーンコンサート  
萩市出身のピアニスト、長岡さん(2004年萩光塩学院卒)はモスクワ音楽院大学院を今年卒業。10月20日(土) 午後2時～一般2000円、高校生以下1000円(当日500円増)

阿武町民センター文化ホール  
(08388・2・2044)

## 映画情報

萩図書館(年中無休)は、開かれた課題解決型の図書館を目指し、「郷土史・維新史レファレンス専門員」が、資料の提示など調査・研究のお手伝いをしています。  
「我が家のルーツは?」「萩の乱の実戦地は?」など、帰省の折などに相談ください。

▽相談日 毎週金・土曜日の午前10時～正午、午後1時～3時  
(問) 萩図書館2階カウンター  
(08338・25・6355)

## 松下村塾開塾170年記念切手 発売中!



クリアファイルと限定記念台紙付のプレミアムフレーム切手が発売されました。  
デザインは、松下村塾の初代主宰者 玉木文之進をはじめ、吉田松陰、高杉晋作、久坂玄瑞など多くの門下生を題材としています。  
販売期間 限定500セット完売まで  
価格 1700円(通信販売の場合合は2000円)  
販売所 至誠館(松陰神社)  
(問) 松陰神社  
(08338・22・4643)

# イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

10月1日(月)～8日(月・祝)10:00～	萩城下町周辺
◇着物ウィーク in 萩	
10月5日(金)～7日(日)18:00～	萩城下町周辺
◇萩・竹灯路物語	
10月5日(金)～8日(月・祝)10:00～	田町商店街
◇萩・田町萩焼まつり	
10月6日(土)～7日(日)15:00～	萩城下町周辺
◇萩発見伝 夢灯りプロジェクト	
10月14日(日)9:30～	萩地方卸売市場 道の駅・萩シーマート
◇萩・魚まつり	
11月10日(土)～11日(日)10:00～	中央公園
◇萩ふるさとまつり	
11月11日(日)8:00～	中央公園 市内各所
◇萩時代まつり	



着物フォトコンテスト

「撫子@大照院2011年晩夏」和田稔(萩市)

## 着物ウィーク in 萩

10月1日(月)～8日(月・祝)

10:00～17:00(5～7日は21:00まで)  
萩城下町周辺



江戸の町並みに似合う着物を着て、まち歩きを楽しんでいただくイベントです。イベント期間中は、着物レンタル・着付けや着物割引などの特典、和の体験プログラムなどをご用意しています。

## 萩・竹灯路物語

10月5日(金)～7日(日)

18:00～21:00  
萩博物館周辺



竹で作った灯籠の中にろうそくをともした竹灯約1200基が、夜の城下町をほのかに浮かび上がらせ、江戸情緒あふれる幻想的な夜をお楽しみいただけます。

## 萩・田町萩焼まつり

10月5日(金)～8日(月・祝)

10:00～18:00(8日は17:00まで)  
田町商店街



萩市・萩近郊の窯元、卸・小売店の出店による販売会です。温かみのある色彩の萩焼がずらりと並び、手頃な価格でお買い求めいただけます。

## 山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

きよちか やすじ

清親と安治 —光線画の時代— 9月8日(土)～10月8日(月・祝)

文明開化が進む東京の風景を主題に描きながら、失われつつある江戸情緒も漂わせた小林清親の作風は“明治の広重”と評された。

■休館日 月曜日(9月17日、10月8日は開館)



△「内国勧業博覧会瓦新斯館」小林清親

常設展示▷記憶の触感—土にこめた想い—、萩焼の近代▷東洋陶磁の美〈装飾〉▷明治の美人画 楊洲周延

●古萩—江戸の美意識— 10月20日(土)～12月9日(日)

## 萩博物館だより

☎0838・25・6447

没後100年記念特別展

かとりもとひこ

楯取素彦と幕末・明治の群像

9月22日(土・祝)～10月21日(日)

素彦は明治維新後、群馬県の初代県令(県知事)となり、養蚕・製糸業の振興や教育にも力を尽くし、日本屈指の「養蚕県」「教育県」とした。



△明治13年素彦が出席した地方官会議の図(衆議院憲政記念館蔵)

■年中無休

●藤田伝三郎没後100年記念「藤田美術館の名宝」

11月3日(土・祝)～12月9日(日)